

## JSSI NOW No. 004 2018/1/5 日本免震構造協会ニュース No. 004

日本免震構造協会 : <http://www.jssi.or.jp/>

本ニュースレターは、会員各位、協会行事参加者など協会関係者にお送りしております。

### 1. 協会からのお知らせと昨年度のご報告

あけましておめでとうございます。本年も宜しく御願ひ申し上げます。

協会は1月5日（木）より新年の業務を開始致します。

- ・ 詳細: <http://www.jssi.or.jp/nenga2018.pdf>

(1月10月賀詞交換会は恐縮ではございますが満員盛況につき申し込み締め切っております)

#### 1) 「平成29年度新興国に対する我が国建築基準の普及促進事業」の概要報告

本事業は、3か年計画で実施したもので、平成27年度は、トルコ、平成28年度はルーマニア、平成29年度は、マレーシア、インドネシア、インドの3か国で実施した。以下に平成29年度に実施した事業の概要を記載する。詳しくは「menshin」1月号に掲載されている。

##### 1-1) マレーシア耐震ワークショップ

- ・ 日 時 : 平成29年8月7日（月）9:40~17:30
- ・ 場 所 : マレーシア科学技術大学（ペナン市）
- ・ 内 容 : 現地の参加者は、約100名であった。国土交通省住宅局より水谷建築国際関係分析官が日本の耐震基準、防災基準の概念、当協会からは、和田会長以下5名がそれぞれ免震構造・制振構造の講演を行った。講義後の討議では、日本の耐震基準で小規模なものは構造計算が省略できること、今後マレーシアで耐震基準を作る際の助言などの議論があった。また免震構造の高層建物への適用、軟弱地盤への適用、積層ゴム支承の引張力の考え方などの議論があった。

##### 1-2) インドネシア耐震ワークショップ

- ・ 日 時 : 平成29年8月25日（金）
- ・ 場 所 : バンドン工科大学
- ・ 詳細 : 現地の参加者は、約150名であった。ジャカルタで3日間開催されたインドネシア建設専門家協会（AARG）の国際会議に合わせて、終了翌日に会場をバンドン工科大学に移して実施した。日本免震構造協会より和田会長以下5名が参加し、マレーシア耐震ワークショップと同じ講演を行った。インドネシアは、地震国でインドネシア地震工学専門家協会会長もご出席頂いた。

### 1-3) インド耐震ワークショップ

- ・日 時：平成29年10月30日（月）～11月3日（金）
- ・場 所：ベンガルール（Global Academy of Technology）  
アーメダバード（Lalbai Dalpatbhai College of Engineering）
- ・内 容：10月30日～11月1日まで、ベンガルールにて出席者約140名、11月2日及び3日はアーメダバードにて出席者約80名で耐震ワークショップを開催した。インドでは、南部は比較的地震が少なく、北部ではヒマラヤ造山運動で多くの地震が発生している。国土交通省住宅局より水谷建築国際関係分析官が日本の耐震基準、防災基準の概念、当協会からは、和田会長以下8名がそれぞれ免震構造・制振構造の講演を行った。またインド側からは、ハイデラバードの国際情報技術工科大学地震工学センター所長 Ramancharla Predeep Kumar 教授が、インドの耐震基準の変遷の講義を行った。

ベンガルールでの討議では、日本での設計用地震動の設定、耐震性能格付けなど日本の制度に関するものから免震および制振部材の詳細、構造設計手法、維持管理など多方面について議論を行った。

アーメダバードでの討議では、日本独特の建築士制度（意匠・構造・設備が同一資格で実施可能）や免震構造の高層建物や軟弱地盤への適用、適用する用途、積層ゴムと球面すべり支承（FPS）との使い分け、鉄骨構造の接合部など広い範囲の討議を行った。

学生の方々からの質問はレベルが高く、我々も耐震・免震・制振について再認識した。耐震・免震・制振に関わる原理原則的な質問が多く、インドの技術レベルの高さと、熱心さが感じられた。

### 2) 第17回免震フォーラム

- ・日 時：平成29年12月18日（月）13時～17時
- ・場 所：青年館ホテル8階会議室
- ・プログラム
  1. 開会挨拶 日本免震構造協会 会長 和田 章
  2. 主旨説明 教育普及部会 委員長 前林 和彦
  3. 基調講演1：「数千年に1度の地震と想定すべき設計用・検証用地震動」  
工学院大学 教授 久田 嘉章
  4. 基調後援2：「免震建築の現状の課題と将来展望」  
北海道大学 教授 菊地 優
  5. 「長周期地震動に対応した免震ゴム最新技術の動向」  
ブリジストン 森 隆浩

6. 「免震建築のディテールを検証する」

松田平田設計 藤 森 智

7. 「積層ゴムの経年劣化について」

奥村組 上 寛 樹  
竹中工務店 濱 口 弘 樹

8. 「これからの免震建築に向けた提言」

織本構造設計 中 澤 昭 伸

(テキスト残部 10 冊程度ありますので 1000 円+送料にて販売しております)

**2. 本年度の協会の催しなど**

**1) 日本免震構造協会新年賀詞交換会**

- ・ 日 時：平成 30 年 1 月 10 日（水）18 時～20 時
- ・ 場 所：明治記念館 1 階 「若竹」  
(申し込みは締め切っております)

**2) 日本免震構造協会総会および懇親会**

- ・ 日 時：平成 30 年 6 月 7 日（木）16 時～
- ・ 場 所：明治記念館 2 階 「孔雀」、「鳳凰」

**3. 協会関係の催し（後援）など**

**1) 東京工芸大学・風工学共同研究拠点・公開研究会**

- ・ 日 時：平成 30 年 1 月 23 日（火）10 時～12 時
- ・ テーマ：「強風による建築物等の疲労損傷問題の現状と展望（5）」
- ・ 場 所：田町スクエア 会議室 G（日本建築学会 建築会館の隣ビル）
- ・ 詳 細：

参加申込：下記に、ご氏名、ご所属、連絡先をお送りください。

問合先：東京工芸大学風工学研究拠点 事務局 TEL：046-242-9658

プログラム(敬称略) (講演者都合により変更することがあります)

10:00～10:10 【趣旨説明】強風による疲労損傷に関する問題について

大熊武司（神奈川大学）

10:10～10:40 【招待講演】温度荷重による疲労

中島 秀雄（小山工業高等専門学校）

10:45～11:15 【招待講演】東京スカイツリーの疲労設計

小西 厚夫（日建設計）

11:20～11:50 【招待講演】部材の低サイクル疲労に関する最近の知見

吉敷 祥一（東京工業大学建築物理研究センター）

11:50～12:00 まとめ

### 3. 書籍およびDVD 販売について

<改訂版>

- ・設計者のための建築免震用積層ゴム支承ハンドブック<改訂版>-2017-
- ・免震建物の維持管理基準<改訂版>-2017-
- ・免震構造施工標準-2017-【経済調査会】

<DVD>

- ・大地震に備える～免震構造の魅力～【日本語・DVD】
- ・大地震に備える～免震構造の魅力～【英語・DVD】

<詳細>

[http://www.jssi.or.jp/bussiness/shuppan\\_detail/ka-2.htm](http://www.jssi.or.jp/bussiness/shuppan_detail/ka-2.htm)

以上